

2012年 2月25日(土)

10:30 ~ 12:00

会場：浄土宗應典院本堂ホール

大震災に学ぶ地域の

西宮・仙台からのレポート。どのように住民は動いたのか

日常が非日常にかわる時

ゲスト

(西宮) 日本災害ボランティアネットワーク 寺本弘伸さん

(仙台) ゆうあんどあい 渡辺祥子さん

定員：60名 参加費：500円

受付・お問い合わせ先：日常生活支援ネットワーク

TEL・FAX：06-4396-9189 メール：po-net@e-sora.net

主催：特定非営利活動法人日常生活支援ネットワーク

運営：有償ボランティア団体連絡会 協力：大阪市社会福祉協議会・大阪市ボランティア情報センター

助成：大阪コミュニティ財団

「大震災に学ぶ地域の絆」～日常が非日常にかわる時～

東日本大震災において仙台など都市部の支援活動から学ぶことで、大阪での災害時に我々は何ができるのか考えるきっかけにしていきたいと思っております。また阪神・淡路大震災時でも被災したあと、住民同士がどのように動きはじめ、その動きが今日までどのような活動を展開していったのか？

実際に西宮と仙台で被災後、どのような時系列で人がどう動いたのかを聞き、これからの心構えを考える学習会です。

ゲスト○仙台：市民特定非営利活動法人ゆうあんどあい 渡辺祥子さん

1992年（平成4年）に任意団体グループゆうあんどあいを立ち上げ、1999年（平成11年）4月法人格を取得し（特定非営利活動法人ゆうあんどあい）現在に至っております。助け合い活動を本来事業とし、居宅介護支援、訪問サービス、デイサービスと介護保険制度事業、自主事業としてふれあいサロン、いきいきサービスまた障害福祉サービス、仙台市の委託事業（4事業）を実施しております。

助け合い、支え合いを通して、地域で在宅で自分らしく暮らせるようにを目的に、『いつでもどこでも誰でも』『困ったときはお互い様』『会う人がいる。話すことがある。やることがある。』を大事に活動をしています。

このたびの東日本大震災を通して、活動目的の思いが果たしてできたのかという問題提起を助け合い部門の職員から受け、組織の振り返りを行っている現在です。

ゲスト○西宮：特定非営利活動法人日本災害ボランティアネットワーク 寺本弘伸さん

大阪市在住、1995年阪神・淡路大震災時に兵庫県西宮市に発足した日本災害救援ボランティアネットワークのスタッフとして1996年から活動に従事しています。活動内容は、主に災害時におけるボランティアのコーディネート活動を中心に、日頃は子どもたちを対象にした防災教育や講演活動などを行っています。

現在は東日本大震災の被災地である岩手県野田村を中心に支援活動を継続しています。

運営○大阪：有償ボランティア団体連絡会

エフ・エー/フェリスモンテ/ふくてつく/おおさかパルコープくらしのたすけあいの会/さつきつつじ会/ナルク大阪南・北いちょうの会/さつきつつじ会/淀川助け合い/海・空・太陽/パーティ・パーティ/よどがわ保健生協くらしの助け合い「あいちゃん」/childroom まめっこ/いくの市民活動支援センター/パーティ・パーティ/大阪市ボランティア情報センター

大阪市内各地で乳幼児から児童期の子育て層や地域で生活されている障がい者や高齢者など、幅広い住民を対象に、日常生活や外出などのさまざまな場面において、介護保険等の制度では補えないニーズへの対応などに取り組んでいる13団体で構成しています。

連絡会では、月例会を通じお互いの活動を確認しあいながら、協同取り組みや市民向けの学習会を開催しています。

会場○浄土宗應典院本堂ホール



地下鉄谷町九丁目③出口より徒歩8分
地下鉄・近鉄日本橋⑧より徒歩7分